

# 事前評価調書

I 事業概要																																												
事業名	交通安全対策事業（交差点改良事業）																																											
地区名	いっばんけんどう 一般県道 <small>こだからあいさいせん</small> 子宝愛西線																																											
事業箇所	やとみしきこぎ 弥富市佐古木地内																																											
事業のあらまし	<p>当路線は<small>やとみし</small>弥富市を南北に通る、国道1号や<small>ひがしめいはんじどうしゃどう</small>東名阪自動車道へのアクセス道路である。</p> <p>当該箇所は国道1号と交差する交差点であり、交通が非常に集中する箇所である。しかし、交差点南側には右折車線がなく、右折車の滞留により後続直進車の進行を阻害し、渋滞が発生している。この状況が急減速や追突事故を誘発しており、危険な状況となっている。</p> <p>これらのことから、交差点改良を行うことにより、交通円滑化及び交通事故の削減を図るものである。</p>																																											
事業目標	<p><b>【達成（主要）目標】</b></p> <p>①交通円滑化</p> <p>②交通事故の削減</p> <p><b>【副次目標】</b></p> <p>—</p>																																											
事業費	事業費		内訳																																									
	4.8 億円		■工事費 1.5 億円、■用地補償費 3.0 億円、■その他 0.3 億円																																									
事業期間	採択予定年度	2025 年度	着工予定年度	2027 年度	完成予定年度	2029 年度																																						
事業内容	交差点改良工事 延長 L=0.20km																																											
II 評価																																												
①事業の必要性	1) 必要性	当該区間は右折帯が設置されておらず、右折車の滞留により直進車の通行が阻害されている。この状況が急減速や追突事故を誘発しており、危険な状況であるため、交差点改良を実施する必要がある。																																										
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p>																																									
	【理由】	交通円滑化及び交通事故の削減を図るため、交差点改良が必要である。																																										
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #add8e6;"> <th colspan="2"></th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="3">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">←————→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←————→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-weight: bold;">事業費（億円）</td> <td>0.3</td> <td colspan="2">3.0</td> <td></td> <td>1.5</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table>							2025	2026	2027	2028	2029	合計	工種区分	調査・設計	←————→						用地補償			←————→				工事					←————→		事業費（億円）		0.3	3.0			1.5	4.8
			2025	2026	2027	2028	2029	合計																																				
	工種区分	調査・設計	←————→																																									
用地補償				←————→																																								
工事						←————→																																						
事業費（億円）		0.3	3.0			1.5	4.8																																					
2) 地元の合意形成	地元からの要望の声が強く、合意形成を円滑に図ることができる環境にある。																																											

判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。
	【理由】	十分な事業執行体制が整っており、事業計画の実行性は高いため。
III 対応方針		
事業実施が 妥当である。	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価ですべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 ・交通円滑化の状況 ・交通事故の発生状況の変化。		